

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 4 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103821		
法人名	医療法人 河原医院		
事業所名	グループホーム 里の家		
所在地	松山市今在家3丁目9-29 (電話) 089-905-8188		
管理者	岡本 末子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 21 年 2 月 6 日	評価確定日	平成 21 年 3 月 5 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 12 月 31 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 2 月 16 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 21 人, 非常勤 人, 常勤換算 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	14,100 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 12 月 31 日事業所記入)

利用者人数	27 名	男性 10 名	女性 17 名
要介護 1	7 名	要介護 2	8 名
要介護 3	6 名	要介護 4	3 名
要介護 5	3 名	要支援 2	名
年齢	平均 84.6 歳	最低 65 歳	最高 98 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地の中に建つ、複数の高齢者福祉施設がある大きな鉄筋4階建ての中にホームはある。運営は医療法人であり、施設内には医師や看護師が勤務しているため、医療との連携は比較的スムーズにできている。利用者本人や家族の希望があり、対応可能な状況であったために現在までに5名の看取りを経験している。昨年は職員の異動も多く厳しい勤務体制であったが、職員個々の努力で利用者の生活の質の確保に努めている。地域との関わりは、関連施設と共にホーム内行事に参加してもらったり、地域行事に参加することで関係を深めている。複合施設の一画で、いかにしてグループホームの特性を出すかが今後の課題となっている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

地域を盛り込んだ理念について検討したが、今回は変更を見送り、継続していくこととしている。書類の確認方法については改善に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員で自己評価に取り組み、ユニットの責任者がまとめて管理者と共に文章化している。自己評価することで、問題点の確認ができ、質の向上に繋がっている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議では、ホームの状況報告や行事報告を行うとともに、地域の情報を教えてもらっており、地域と情報・意見交換できる場となっている。防災訓練の協力依頼やホーム行事の検討等については継続して議論している。また、人手不足の現状も説明し、人事の協力を依頼することもある。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族会の際や、家族の来訪時等に出された意見等については、職員で共有し、素早い対応に取り組んでいる。苦情等の相談窓口は明示し、家族に説明している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

広い敷地内にある関連施設を含む大きな建物のため、地域の方との気軽な行き来は難しいが、散歩やお出掛け時には挨拶を交わすよう努めている。施設全体が広いので、地域行事の場所として提供されることが多い。福祉や介護の相談が増えていることで、地域におけるホームの役割が確立されつつある。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム里の家

(ユニット名)

たんぽぽ

記入者(管理者)

氏名

乗松 千花

評価完了日

平成 20 年 12 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 去年指摘があったが、新卒者も入り、基本をやり直すつもりでそのままの理念で取り組んでいる。年々の行事など協力頂いておりお互いのふれあいにより理念は構築されている。 (外部評価) 個々の利用者の思いや生活を大切にしたい理念となっており、職員間で事あるごとに話し合って確認し合っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎朝、理念を復唱しており、利用者の希望を優先し、その都度柔軟に対応する事により実践に向けて日々取り組んでいる。お一人お一人の個別の生活、ケアと声かけを行い、取り組んでいる。 (外部評価) 職員や利用者の目に触れる場所に掲示している。また、毎朝復唱して意識し、理念の実践に向けて努力している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議や行事を行う事により、お互いのふれあいを大切にし、最も良い状態での取り組みを行っている。地域の方、家族の代表者を招いて理解してもらえるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の行事に参加したり、呼びかけは行えている。顔見知りの方には、あいさつをしたり、近所の方にあつた時声をかけを積極的に行っている。近所に喫茶店がある為、行ける時には利用している。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) お互いの行事や地域活動には参加し、交換できている。ボランティア等（夏祭り、地方祭、地域の夏祭り、バザー等） (外部評価) 広い敷地をもつ建物の3階にホームがあるという立地も関係して、日常的な近所の付き合いができていとは言えないが、散歩や行事等での交流を心がけている。地域の方からの相談やボランティアの協力があり、地域へのホーム機能の還元等に徐々に取り組んでいる。		参加することも大切ですが、隣近所の子供さん達に来て頂いて「七草粥」「亥の子の縄作り」「竹とんぼ」作り等、どなたか作れる人に来て頂いて、昔の話等して頂く機会も検討していきたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り、地域への行事には参加し、交流はあるが、そこまでには至っていない。運営推進会議で地震の体験をしたり取り組みをしている。		将来的には、地域の人々に役に立てる勉強会など開いていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を基に見直しをし、自己の意識を高め改善出来る様に取り組んでいる。 (外部評価) 評価の意義を十分理解したうえで全職員が自己評価に取り組んでおり、日々のケアの振り返りを行うことでサービスの向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回位運営推進会議を行っている。利用者、地域の方等が集まり、行事等の報告、話し合い、意見交換を行っている。各ユニットで地域の方と交流を持てた。サービスについての改善や意見を実直に受け止め向上させる努力を行っている。 (外部評価) 2か月に1回開催し、地域の情報を得たり、行事等を通じて地域と交流する場としても活用されている。ホームの状況報告、催し物や行事、防災や避難訓練、その他の相談等について検討や意見交換をしている。会議での意見等はサービス向上に活かせるよう対応している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) サービスの向上に向け、管理者ならびに職員は日々取り組んでいる。 (外部評価) 運営推進会議への参加を通じてホームの状況を知ってもらったり、各種の手続きや申請時等に意見交換をしたり、種々の相談等をしながら連携をとっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会があったが、学ぶ機会も少なく理解は十分ではない。	※	自己研鑽をしていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 言葉の虐待についてきつくならないよう、優しい声かけ、思いやりを忘れず、ゆっくりと話すよう行動し努力している。 高齢者虐待防止関連法について漠然な思いはあるが、防止については未然に防いでいると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居申請の際、十分な説明を行い、同意を得ている。入所前、入所後、その都度（カンファレンス等）に疑問点をたずね十分な説明を行い、理解、納得を行えている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者が意見、不満があれば職員、管理者が聞きどう解決すべきか、話せる機会を設けています。リスクマネジメント協議会を何度も行い、運営に反映されている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、ユニット便りを発行し、利用者一人一人の暮らしぶりや健康状態等、近況報告と共に金銭出納帳のコピーを送り報告している。状態変化時、特変あればその都度報告している。 <hr/> (外部評価) 家族の来訪は比較的多く、その時に情報交換や報告をしている。また、月に1回は金銭出納帳と手紙を送付して報告している。職員の異動についてはケースバイケースで対応している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の意見、不満、苦情があれば、リスクマネジメントの徹底により、管理者及び職員が一丸となり、話し合いを行い、運営に反映されている。家族会もあり、意見を表せる機会も設けている。 <hr/> (外部評価) 家族との話し合いや要望等は職員間で共有し、運営に反映している。また、家族会も開催しており、情報提供、意見交換等をしている。ホーム内や外部への意見を表す具体的な方法として、苦情相談窓口を明示し、家族に説明している。	※	苦情窓口を設けており、すぐに全体職員に伝え、話し合いを行っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今年初めての交流会を持ち代表者が参加。他のグループホームとの関わりを持った。 (外部評価) 地域包括支援センターの呼びかけでグループホームの交流会が開催され、他のホームとの交流ができた。参加者はよい機会と感じており、今後の取り組みと継続に期待している。	※	もっと機会を増やせばいいと思う。他のグループホームがどのようにされているのか交流を深めるようにしたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ストレス軽減に向けた取り組みはあまりされていない。休憩中も声をかけたりされると落ち着けない。休憩室もあるが、昼休み30分位しかないのでお弁当を食べるのがやっとなので、ほとんど使用していない人もいる。	※	悩みを聴いてくれる人が欲しい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 向上心を持って働き続ける取り組みはあまりされていない。分からない事は、分かるまで何度も何度も聞くようにしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者、リーダーが付き添い、利用される前に本人と直接会い、困っている事、不安な事等、相談し聴く機会を作り努力している。少しずつ話は聴いているが、なかなか時間を持っていないのも現実である。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者、リーダーが付き添い、意見要望等、聴く機会を作り努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族が必要としている支援に努めている。本人の意思も含めた話を家族に提案し、一緒に考えてもらっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 急にするのはではなく、徐々に体調の事を考えながら行っている。 <hr/> (外部評価) 管理者とユニット長で本人や家族と面談し、情報収集している。必要に応じて見学してもらったり、面談を重ねることで、納得してもらい、徐々に馴染めるように配慮している。落ち着くまでの期間は家族の協力も大切と考え、情報交換を密にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごしながら、利用者の過ごしてきた時代背景をお聞きし、自分に当てはめ、違いや思いを学ばせて頂いたり、家族の話をして下さる関係を築いている。時にはお小言頂いたりしている。 <hr/> (外部評価) 職員は、昔のことや生活の知恵等を利用者から学んでいる。家族の話もよくしており、職員は「自分のおばあちゃんのような関係」と言う。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族からもお話を聞いたりして関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会に来られたり、家族さんと外出されたりしている。本人の思いを伝えたり、家族の意思を受け入れ支援している。行事の際、家族さんに連絡、参加して頂き一緒に楽しんで頂いている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自由に面会に来られる。近い方は、度々来て頂いている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が中に入り、コミュニケーション作りに励み日々の会話の中に支え合える様な話や対応をしている。利用者同士でお話もされており、関わり合う事ができている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 関係を断ち切らないつきあいが出来ている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) カンファレンスや日々の生活の中で本人の希望や意向を聞いて一人一人の思いやその人にあったケアができるように努めている。 (外部評価) 日々の生活の中で本人が発する言葉や態度に注目し、一人ひとりの思いを知ることができるよう努めている。言葉で表現することが難しい利用者については、行動や様子からも把握できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) フェースシート等で把握したり、本人・家族からお話を聞いて得意な事出来る事はして頂く。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 見守り声かけを行って、変わった事があれば、個人記録に残している。一人一人の過ごし方を把握しており、マイペースに過ごされているので、尊重するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 入居者、家族にもカンファレンスに参加して頂き、希望や課題のあり方を話し合い、一人一人の課題を明確にして介護計画を作成している。 (外部評価) 本人や家族の希望等を取り入れた計画を、それぞれの担当者が中心となって情報収集し、本人や家族も参加してのカンファレンスで介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 入所1ヶ月後と3ヶ月に1回カンファレンスを行い、状態変化に応じたカンファレンスを実施し、介護計画の見直しを行っている。 (外部評価) 毎月の介護計画の評価と3か月ごとのカンファレンスで見直しをしている。また、状況の変化に応じてその都度計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々、ケアプランのチェックをしたり、変わった事があれば、個別記録に本人の言動や行動を記入できている。また、申し送りノートにも記入し、職員全員が理解出来る様になっている。カンファレンス時に介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイケアルームにてウォーターベット、カラオケ等の使用をしている。 (外部評価) 利用者や家族の要望に応じた支援ができるよう、状況に応じて、家族の協力も得ながら対応している。柔軟な支援に努めているが、職員の勤務状況等によっては対応に時間を要することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 行事の時、ボランティアに来て頂いている。消防訓練は年2回、協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の要望があれば行っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターと協働出来ていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 医療機関は、入居者、家族の判断で選択されている。施設に往診に来て頂いている。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を利用している。かかりつけ医の往診があり、同じ建物の中には医師もいるため、緊急時の対応や連携は安心できる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 相談できる医療機関を確保出来ている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 2階(老健)に看護職員がおり、何かあればすぐ報告、連絡、相談している。指示をもらい、協力を得ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院の際に、サマリーを書いて出す事で情報交換している。協力病院があり情報は頂いている。退院のメドがいたら、家族と一緒に医療機関と話し合っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えた利用者のご家族、かかりつけ医には、早い段階で連絡ができており、重度化した場合や終末期のあり方について、本人、家族、かかりつけ医等と話し合い方針を共有している。 (外部評価) 医療との連携はスムーズにできている。同建物内の他施設に看護師が勤務している。ホームで看取りをした方は5名となっており、看取りの希望にはできるだけ対応したいとの方針を持っている。時々に関係者、利用者や家族と話し合い、方針や具体的な取り組みを確認し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医と協力して支援に取り組んでいる。ターミナルケアとして家族、本人の思いは受け入れている。	※	利用者、本人の意思の確認と家族の意思を再度確認し、紙面上で残している。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換できている。あまり十分とはいえないと思うが、ほとんどの利用者は、家に帰りたいと希望しているが、しょうがないとあきらめている様子。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 認知症状があっても一人の人間として人格を尊重し、一人一人に合った対応を行っている。個人情報として記録を残す時は頭文字を使用している。 (外部評価) 利用者への言葉かけや態度から、個々を尊重しプライバシーに配慮していることがうかがえる。また、記録類の保管や取り扱いにも気をつけている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 分かるまで説明して納得して頂いており、本人の思いや希望があれば聞いている。おやつの中には、好きな飲み物（コーヒー・紅茶・お茶・ココア等）を選んでもらい出している。おやつ作り、夕食作り等は、何が食べたいか聞いたり、行きたい所、やりたい事を聞いたり、行事参加等自分で決めて頂く。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事入浴等の時間は決まっているが、他は一人一人のペースで声かけしながら希望に添って生活をされている。利用者の希望や思いを優先しているが、全ての受け入れは、出来ない事もあるのが現状。(他の方が不快になる事は受け入れていない。) (外部評価) ホームでの基本的な生活は決めているが、職員は声をかけながら利用者の希望にそった暮らしとなるよう努力している。介護や医療の関わりが多くなると、いろいろな制約もあり、一人ひとりのペースにそった暮らしを確保することは難しいこともある。	※	職員は多忙ながらもより良い介護に向けて努力しており、個々の希望を受け入れたいという熱意があるため、生活全体を含めて具体的な検討を継続していくことを期待する。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に1回の訪問理容や2ヶ月に1回の訪問美容があり、カット、パーマ、毛染めが出来る。本人の望みがあればそうするが、施設に来て頂いている。本人の望む店にご家族と行かれる人もいる。	※	いきつけの理美容室もご家族と一緒にならば行って頂いている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) おやつ作り、夕食作りが月に1回あり、その時には好きなメニューを聞いて作ったり、準備も一緒にして頂いている。食器拭きはいつも手伝って頂いている。屋外での炭火焼での秋刀魚を味わったりしている。食事については、一緒に食べていない。 (外部評価) 食事は建物内の厨房から届けられ、主食はユニットごとに準備している。月に1回はおやつや希望の夕食を作っている。準備や後片付けはできる範囲で手伝ってもらっている。食事は利用者だけで食べており、支援の必要な方は職員で対応している。職員は事務室で交代で各自の弁当を食べている。	※	条件的に利用者と職員が同じ食事をすることが難しいことは理解できるが、同じ場所で一緒に雰囲気を楽しみながら食べることは可能か等、利用者の食事の楽しみを持続する働きかけ等について検討を続けることを期待したい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ時に利用者の嗜好を取り入れたり、忘年会や夏祭り等大きな行事の時に希望があれば、お酒を出して楽しんで頂いている。ユニットでは、ほとんど飲む方がいない。煙草の吸いたい方は、喫煙されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ポータブルトイレの設置やトイレの声かけ、誘導、介助やオムツ交換時、時間を決めて行っている。排泄のパターンやオムツの使用を減らせるよう職員が考え行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日は決まっており、週3回午前中に毎回順番を替えて入浴して頂いている。一人一人の希望やタイミングにはなかなか添えない。散髪があった時は、午後からにしたり、外出や行事の際は体力的な負担が大きいため中止している。 (外部評価) 主に、週3回、午前中に入浴の支援をしている。また、散髪した際、希望時、必要時等の入浴にも可能な限り対応している。温泉に入りたいとの希望があるため、現在具体的に検討している。	※	温泉ドライブを考えていたが企画段階のみとなり実現していないが露天風呂等を貸し切り季節を感じ心と身体の癒しも考えていきたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、食後1時間位休息の時間をとって頂いたり、夜間眠れない時は、ココア等の温かい飲み物を飲んで頂いている。室内の証明や希望により常夜灯の設置をしている。冬場は、加湿器の使用をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 毎食後、自分の役割として、食器を拭いてもらったり、声かけにて洗濯物たたみ等行ってもらっている。趣味の作品作り(生け花、書道、折り紙)や俳句作り等もされている。天気の良い日は、外に出られたり散歩、ドライブ等施設行事にて行っている。新聞を読んだり、テレビの時代劇を観られている。 (外部評価) 食事の手伝い、洗濯物をたたむ、掃除、趣味(生花・書道・折り紙・俳句・絵画等)の作品づくり、新聞やテレビを見る、散歩、ドライブなど、日々の生活の中でできることや好きなことなど、利用者ごとに合った楽しみごとや役割を見つけて支援している。	※	もっと外出の機会を持ってゆっくり外食したり、コーヒーを飲む機会を増やしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理は職員が行っており、買い物やドライブ、買い物の代行にて希望を実践している。お金を所持している方もおられ、文化祭のバザーや移動パン屋さんが来た時等、支払いされたり、希望者は自分のお金をもって買い物される。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日は、庭の散歩やドライブにて支援しているが、なかなか一人一人の希望に添って出かける機会は少ない。自分で散歩に行かれたり、日光浴されている方もいる。月に何度かご家族と外出している。 <hr/> (外部評価) 天気の良い日に広い庭を散歩したり、敷地内で日光浴を楽しんでいるが、ドライブや外食等の外出はなかなか計画を立てることが難しく、外出については主に家族の協力を得て行っている。	※	外出の計画はさまざまな条件により難しい面もあるとは思いますが、利用者の楽しみの一つと捉えて、希望を聞きながら検討し、実現に向けて取り組むことを期待したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ドライブ等行っているが、あまり機会を作れていない。個人的に行きたい所はご家族と一緒に行かれている。季節の花を見ながら、バーベキュー、芋炊き、秋刀魚を焼いたりした。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話を掛けたい時は、ダイヤルは職員が押し、本人が話される。手紙の代読、代筆も希望があれば行っている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 定期的にご家族も面会に来られている。知人、友人も気軽に訪問されたり、来られた際は、フロアや居室にて過ごして頂いている。いつでも来られるように日頃から掃除をし、居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、生命に危険があると思われる場合、ご家族の了承を書面にて得ている。1部身体の安全を守る為、つなぎ服を着用して頂いている。		夜間巡回等頻階に行い、見守り行っている。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけず、どのユニットでも行き来出来るようになっており、行動範囲を把握し理解してもらい全員で見守り声かけ行っている。エレベーター、階段はロックされている。 (外部評価) ホームは高齢者施設等に併設された建物の3階にあるという構造のため、エレベーターと階段は施錠している。過去に鍵の取り扱いについて検討したが、ホームだけ別で取り扱うことができなかった。建物内はゆったりとして広く、ユニット間の出入りは自由である。職員は利用者の動きを把握して対応している。		老健施設と併設されている為、ロック外しは困難である。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守り、声かけを行う事で利用者の所在や様子を把握できるように常に心がけている。昼間は2時間以内、夜間は1時間毎の巡視を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬、洗剤類や包丁等は、目の届かない場所に保管管理できている。使用した後は、直ちに保管場所へ戻し管理行っている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットや事故報告書は必ず読んでおく。誤薬がないように顔と名前を確認しながら食後に手渡し服用して頂く。煙草は火の元に注意し、フロアーにて吸って頂いている。食事(キザミ食にて対応し見込んだか確認)、歩行時の際のこまめな見守り、声かけにより事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会を行った事があったが、定期的には行えていない。手法は理解できており、急変時や事故発生時に備えているが不安もある。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防災訓練は年に2回行っている。昼間、夜間の訓練を行っている。消防士の方にも来て頂いている。 (外部評価) 消防署の協力を受けて年2回の防災訓練を実施し、夜間を想定した訓練も行い、マニュアルの見直しにも取り組んでいる。施設内は広く、地域の避難場所となることも可能である。災害時の備蓄についても検討し、食料は1階厨房で管理している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 事故はいつ起きるか分からない起こり得るリスクについてご家族に説明している。3ヶ月毎のカンファレンス時に今の現状とこれから起こりうるリスクについて話し合う事が出来る。	※	毎回家族に声かけ行っている。出席できなくても意見を聞いてプランにはんえいしている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人一人の体調の変化や異変があった時は、バイタルチェックを行い、2階看護師に様子を報告し、指示を受けて対応している。記録はきちんと残し、特変事項等申し送りノートに記入している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一応理解できているが、全ての薬の目的、副作用等把握していない職員もいる。変化があった時、必ず病院または看護師に報告している。古い薬剤情報については、各病院へ依頼し、情報の提供を行っている。	※	職員全員が服薬の支援と症状の悪化の確認努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 漢方薬であるセンナ茶の飲用や、腹部マッサージ、水分摂取等心がけている。排便－3日でラキソにて調整している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後、口腔ケアを行っている。義歯の洗浄を毎食後行っており、夜間はポリデント等の薬剤につけ込んでいる。出来ない人、麻痺のある方は介助を行っている。(歯ブラシにガーゼを巻き、うすめたイソジン液で舌や歯茎のマッサージ、口腔洗浄器使用)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 日々、食事量、水分チェックを行っている。水分量の少ない方には、声かけを行い好きな物を摂取して頂き、個人の飲みやすい摂取しやすい方法で1ℓ以上の水分摂取を行っている。食事で嫌いな物、アレルギーのある方には、別の物で補い、本人の口に合う味付けにする等工夫している。 (外部評価) 管理栄養士が献立を作成しており、栄養バランスはとれている。摂取量を把握するため、記録に残している。必要な方には水分摂取量をチェックし、必要量の確保に努めている。また、好きなもの、嫌いなものやアレルギーへの配慮が必要な利用者にも対応している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 勉強会があり、感染症予防や対応等実行している。うがいや石鹸をつけよく手洗いをやっている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 毎日、調理器具(布巾、まな板等)の消毒を行っている。食材の品質を確認したり、期限切れの物などチェックしている。残った調理済みの食事については、2時間で廃棄している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物周囲には、季節ごとの花が庭に咲いており、東屋もある。玄関は広いスペースがあり、季節に合った環境作りに心がけている。展示物や目印等工夫されている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感のある生け花を飾ったり、展示物等で分かり易く季節感を出し、その都度環境作りを行っている。テレビの音量は入居者に確認をとりながらボリューム調整し、眩しい時は、カーテンやすだれ等で調整している。 (外部評価) 広くゆったりとしており、飾りや生花で季節感をだしている。ユニットの周囲は広いベランダが続いており、散歩をしたり外気浴を楽しむことができる。音、換気、陽射し等の調整にも配慮している。また、収納スペースとして利用できる広い部屋があるため、共用空間はすっきりしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ホールの一角にソファを置いていてそこでテレビを観られたりお話されたり、傾眠されて居る人もいる。気のあった入居者同士で時間を過ごして頂いている。談話コーナーもあり、日なたぼっこや話をして過ごされている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家具類の持ち込みは自由な為、使い慣れた物等持ち込まれている人もいるが、ほとんどの方が備え付けのタンス、ベットを使用されている。愛着のある物や趣味の手作り作品また、家族の写真や御位牌等個人の過ごしやすい工夫をしている。 (外部評価) 広めの部屋に、ベットとタンスが備え付けてある。各自が家族の協力を得ながら仏壇、家族の写真、人形、鏡台など使い慣れたものを持ち込み、自分好みに配置している。家族の宿泊にも対応可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 朝、窓を開け換気をし空気入れ換えを行っている。室内の温度調節もこまめに行っている。冬場には加湿器を設置したり、タオルを濡らしたり洗濯物を室内に干したり水を溜める等、細やかな配慮が出来ている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 広い空間があり、車椅子の移動等不便がない。風呂場や廊下、トイレ等要所所に転倒防止の手すりを設置し防いでいる。残存機能の維持の為、出来る事は自力で努力して頂いている。車椅子の方は、居室で洗面すると鏡の位置が高い。		鏡の位置を低くしている。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室前に名札とのれんの種類で分かるようにしている。一人一人の個性や性格を把握し、混乱しそうな時は、声かけや見守りを行い、二人になれる場所にて話しを傾聴している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダを一周散歩できる。建物内に東屋や畑があり、サツマイモやいちじくも収穫できる。季節毎の花々も咲いていて、自然に親しむ事ができる。ベランダに花を植えたり、干し柿等を作り、散歩時にも季節感を持ち活動して頂ける様に努力している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	ユニットケアである為、個人の意向は把握出来ている。利用者から、「よくして頂いています。ここで暮せるだけで有り難い。」と言われる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある ③ たまにある 4 ほとんどない	日常業務が多いので、利用者とはゆっくり過ごす時間が少ない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分のペースで穏やかに生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行事に参加したり、話をしたりと関わる事で笑顔が見られる。行事に参加して頂くことで、表情が明るく楽しまれている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	季節に合ったドライブ等が出来ている。希望者のみ買い物に行かれたりしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療面で連携がとれており、往診にも来てもらっている。なかなか身体が思うようにならない方も安全面や不安など取り除いている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その都度、お話は聞いている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	カンファレンスや面会時等に聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	時々、訪ねて来られる。詩吟教室や地域の方のボランティアによるコーラス等定期的に来てもらっている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	行事はお互いに参加しているが、理解者や応援者が増えているかは分からない。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務に追われバタバタとしているが、生き活きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「良くしてもらっているのでこのままでいい。」と言われる。一対一の対応ままならないが、ほぼ満足されている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	お褒めの言葉や感謝の言葉を頂いている。意見を聞くが、特に無いと言われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・家族の希望の有る方は、看取りまで行えている。
- ・老健施設と併設されている為、夜間でも24時間体制で医療面をバックアップしてもらっている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム里の家

(ユニット名)

すみれ

記入者(管理者)

氏名

松田 岳人

評価完了日

平成 20 年 12 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の行事への参加、またこちらでの行事の参加の声かけを行っている。施設的な性格が強く、地域密着としての理念としては、薄いかもしれない。 (外部評価) 個々の利用者の思いや生活を大切にしたい理念となっており、職員間で事あるごとに話し合って確認し合っている。		地域社会とのつながりを深めていきたい。その為にも、理念の再構築も検討してみたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎朝、申し送り時に復唱し、ユニット内に理念の掲示も行い、実践に励んでいる。 (外部評価) 職員や利用者の目に触れる場所に掲示している。また、毎朝復唱して意識し、理念の実践に向けて努力している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 廊下や玄関ロビーに掲示を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝、夕の挨拶等顔を合わせた時は、気軽に声かけしている。		参加出来ることあれば、参加してみたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) こちらからの参加は数える程で、自治会や老人会には参加していない。地域活動には、出来るだけ参加している。 (外部評価) 広い敷地をもつ建物の3階にホームがあるという立地も関係して、日常的な近所の付き合いができていないとは言えないが、散歩や行事等での交流を心がけている。地域の方からの相談やボランティアの協力があり、地域へのホーム機能の還元等に徐々に取り組んでいる。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にて議題に挙げ、今後に向けて前向きに話し合いをしている。		地域の方々を招いて、起震車の体験を行った。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価することにより、日頃のケアを改めて見直し、反省している。 (外部評価) 評価の意義を十分理解したうえで全職員が自己評価に取り組んでおり、日々のケアの振り返りを行うことでサービスの向上につなげている。		比較的スムーズな対応、改善行えている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 外部評価、家族会等話し合った内容は、報告し話し合いを行っている。 (外部評価) 2か月に1回開催し、地域の情報を得たり、行事等を通じて地域と交流する場としても活用されている。ホームの状況報告、催し物や行事、防災や避難訓練、その他の相談等について検討や意見交換をしている。会議での意見等はサービス向上に活かせるよう対応している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市より、運営推進会議に参加して頂き、サービスの質の向上の意見交換している。 (外部評価) 運営推進会議への参加を通じてホームの状況を知ってもらったり、各種の手続きや申請時等に意見交換をしたり、種々の相談等をしながら連携をとっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会行われている。現在の所、必要のある方がいない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 入浴時の身体のチェックを行い注意し、防止に努めている。また、勉強会に参加し学んだ。		学ぶ機会を増やしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族、本人の要望を聞き、説明も行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、思いを聞き対応している。また、苦情は速やかに管理者に報告し、指示を仰いでいる。		家族来所持には、近況報告行いお伝えしている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 変わったことあれば電話連絡行い、特変なくとも1ヶ月に1回はすみれ便り近況報告行っている。 <hr/> (外部評価) 家族の来訪は比較的多く、その時に情報交換や報告をしている。また、月に1回は金銭出納帳と手紙を送付して報告している。職員の異動についてはケースバイケースで対応している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 機会を作り、家族会等にて話し合い、報告・相談行っている。 <hr/> (外部評価) 家族との話し合いや要望等は職員間で共有し、運営に反映している。また、家族会も開催しており、情報提供、意見交換等をしている。ホーム内や外部への意見を表す具体的な方法として、苦情相談窓口を明示し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のユニット会、カンファレンス等において意見交換行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員の確保が困難な為、柔軟さには欠ける。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者には、異動による影響はあまりない様子。最小限の異動なのでダメージも最小限になっている。 (外部評価) できるだけ異動を控えているが、退職等でバランスや相性等を考慮する必要があることもあり、どうしても必要な場合は利用者に影響が出ないように、個別に配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会の開催、新人研修を行い育成行っている。 (外部評価) 採用時の教育については、経験や背景を考慮しながらマンツーマンで指導している。また、ホーム内で年間計画を立てて開催している月1回の勉強会には、ほとんどの職員が参加しており、業務に役立てている。ホーム外での研修参加等について、職員の意欲はあるが、人員のゆとりが十分とは言えないため参加が難しいこともある。	※	学びの意欲を持続するためにも、勉強会の運営や研修会後の報告書の作成、周知や伝達方法の徹底などについて検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会に参加しているし、研修を受けている。 (外部評価) 地域包括支援センターの呼びかけでグループホームの交流会が開催され、他のホームとの交流ができた。参加者はよい機会と感じており、今後の取り組みと継続に期待している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職場内でのボーリング大会、忘年会等行い、軽減に努めている。		職員同士の交流を深めていきたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 利用者本位のケア行える様に努めて働いている。常にこうありたいという向上心を持っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) その都度対応している。		じっくりと拝聴し受け止めたい。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 申し送り時に家族の状況確認等をして家族の意向、望みを全スタッフに説明し受け止めてもらうよう入所前に話し合いをしている。		電話等してカンファレンス時の要望等をお聴きしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ユニット内の説明行い、必要としている内容の見極めしている。他のサービス利用の必要を感じた際は管理者と相談して検討している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 人柄等、事前に情報を集める事により、馴染める様に声かけ等に努めている。 (外部評価) 管理者とユニット長で本人や家族と面談し、情報収集している。必要に応じて見学してもらったり、面談を重ねることで、納得してもらい、徐々に馴染めるように配慮している。落ち着くまでの期間は家族の協力も大切と考え、情報交換を密にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人一人にあったペースにて、時間のある際にはいろいろなお話を伺い一緒に過ごして入居者と共に生活している様に支援している。 (外部評価) 職員は、昔のことや生活の知恵等を利用者から学んでいる。家族の話もよくしており、職員は「自分のおばあちゃんの様な関係」と言う。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 月1回の便りを出したり、行事への参加等の声かけをしている。また、現状を説明する等電話での機会も多くとっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者、家族の両方にお話を聞き、要望、希望を加味し、支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や電話などされている。外出の計画も立てているが、少なく途切れがちである。		本人の希望を出来得る限り支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が仲に入り、レクリエーションや行事参加等で融和を図っているが、相性や認知の度合い等で上手くいかない事もある。		利用者同士関わり合いがある様、声かけに努め、仲を取り持っていきたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 行事参加等の声かけや、季節に合ったハガキ等出し断ち切らない取り組みはしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 全てまでとはいかないが、本人の要望、希望を聞き、満足して頂ける様に努めている。 (外部評価) 日々の生活の中で本人が発する言葉や態度に注目し、一人ひとりの思いを知ることができるよう努めている。言葉で表現することが難しい利用者については、行動や様子からも把握できるよう努めている。		時と場合もあるが、希望に沿える様努力している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 介護サマリー、介護記録にて把握行い、忘れない様、度々見直している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 現状を記録し、把握行っている。		総合的に把握していけるよう努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1回カンファレンス行い、本人・家族の希望に沿って計画立てていっている。ご家族の来れない場合には電話にて要望、希望を聞いている。 (外部評価) 本人や家族の希望等を取り入れた計画を、それぞれの担当者が中心となって情報収集し、本人や家族も参加してのカンファレンスで介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) その時その時に応じ見直しが急務と見なされる場合には速やかに現状に即した計画の作成を行っている。 (外部評価) 毎月の介護計画の評価と3か月ごとのカンファレンスで見直しをしている。また、状況の変化に応じてその都度計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子、ケアプランの実行等、見やすく記録されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ユニット内でのリハビリとOTによるリハビリを行っている。 (外部評価) 利用者や家族の要望に応じた支援ができるよう、状況に応じて、家族の協力も得ながら対応している。柔軟な支援に努めているが、職員の勤務状況等によっては対応に時間を要することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防訓練や行事等に参加している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の意向必要性に応じ対応している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 協働は出来る体制にはあると思っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望の及ぶ限りかかりつけ医との関係を保っており、希望時には、かかりつけ医以外にも受診している。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を利用している。かかりつけ医の往診があり、同じ建物の中には医師もいるため、緊急時の対応や連携は安心できる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 定期的を受診している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 特変事、すぐに看護師に連絡出来る体制作っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院関係者、家族との情報交換に努め、連携している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ある程度の所にて重度化、終末期に向けた対応をカンファレンス時等に家族と話し合っている。 (外部評価) 医療との連携はスムーズにできている。同建物内の他施設に看護師が勤務している。ホームで看取りをした方は5名となっており、看取りの希望にはできるだけ対応したいとの方針を持っている。時々に関係者、利用者や家族と話し合い、方針や具体的な取り組みを確認し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族、かかりつけ医等、医療との連携を取れる様に出来ている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族及び本人に関わるケア関係者により情報交換、話し合いを行い、対応出来る様努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけが時折出来ていない事もあるので注意していきたい。記録、書類は取り扱いに注意している。		丁寧な言葉遣いを心掛ける。
			(外部評価) 利用者への言葉かけや態度から、個々を尊重しプライバシーに配慮していることがうかがえる。また、記録類の保管や取り扱いにも気をつけている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望、利用者本位の生活が出来る様、努力している。		より本人の意向を尊重していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員側の決まりに合わせている事も多々あるが、なるべく一人一人の希望に合わせていける様、努力している。 (外部評価) ホームでの基本的な生活は決めているが、職員は声をかけながら利用者の希望にそった暮らしとなるよう努力している。介護や医療の関わりが多くなると、いろいろな制約もあり、一人ひとりのペースにそった暮らしを確保することは難しいこともある。	※	関わる時間を増やしたい。 職員は多忙ながらもより良い介護に向けて努力しており、個々の希望を受け入れたいという熱意があるため、生活全体を含めて具体的な検討を継続していくことを期待する。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 身だしなみ、服装に注意払い対応している。理容、美容は訪問して下さっており、別の行きつけがない方は、ここで対応している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食器の片付け等は、他入居者が入居者に触れられるのを嫌う為、職員が行っており、一緒にするという事はない。 (外部評価) 食事は建物内の厨房から届けられ、主食はユニットごとに準備している。月に1回はおやつや希望の夕食を作っている。準備や後片付けはできる範囲で手伝ってもらっている。食事は利用者だけで食べており、支援の必要な方は職員で対応している。職員は事務室で交代で各自の弁当を食べている。	※	条件的に利用者と職員が同じ食事をすることが難しいことは理解できるが、同じ場所で一緒に雰囲気を楽しみながら食べることは可能か等、利用者の食事の楽しみを持続する働きかけ等について検討を続けることを期待したい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人希望により、酒を召し上がられる方もいたり、一人一人に合わせて支援している。		疾病のある方もおり、一人一人に合わせて行っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その人その人に合った排泄方法、声かけを行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 決まった時間帯、曜日での対応。一人一人の希望は、入浴順位しかかなえられていない。 (外部評価) 主に、週3回、午前中に入浴の支援をしている。また、散髪した際、希望時、必要時等の入浴にも可能な限り対応している。温泉に入りたいとの希望があるため、現在具体的に検討している。		入浴順をもめる事がない様、順番を作り対応している。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中でも体調や本人の訴えに応じ、休んで頂いている。		入居者本位の立場にて行っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 趣味の提供や季節毎の企画を設け、楽しみを提供できればと努めている。一人一人の個々のレベルでは、支援出来ていない。 (外部評価) 食事の手伝い、洗濯物をたたむ、掃除、趣味(生花・書道・折り紙・俳句・絵画等)の作品づくり、新聞やテレビを見る、散歩、ドライブなど、日々の生活の中でできることや好きなことなど、利用者ごとに合った楽しみごとや役割を見つけて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が管理されている額は少額のみ。ユニットで預り、希望に応じ使えるようにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 人員的に一人一人のその日の希望にそって戸外へ出られる程ゆとりがなく出来ていない。 (外部評価) 天気の良い日に広い庭を散歩したり、敷地内で日光浴を楽しんでいるが、ドライブや外食等の外出はなかなか計画を立てることが難しく、外出については主に家族の協力を得て行っている。	※	少人数からでも時間を作って行ける様に支援していきたい。 外出の計画はさまざまな条件により難しい面もあるとは思いますが、利用者の楽しみの一つと捉えて、希望を聞きながら検討し、実現に向けて取り組むことを期待したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の方が、食事や墓参り等にて外出される事はあり。外出計画は少ないが、利用者より希望を聞いて立案している。		外出の回数を増やしたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話したいという方の希望には対応している。手紙についてはこちらから、近況を明記した便りを送っている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会の際には、椅子、お茶を用意し、居心地良くお話出来る様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行っていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵はないが建物の構造上、やむを得ずエレベーターと階段はロックしている。 (外部評価) ホームは高齢者施設等に併設された建物の3階にあるという構造のため、エレベーターと階段は施錠している。過去に鍵の取り扱いについて検討したが、ホームだけ別で取り扱うことができなかった。建物内はゆったりとして広く、ユニット間の出入りは自由である。職員は利用者の動きを把握して対応している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在確認行い、安全に配慮している。徘徊の激しい方の所在確認が至っていない事もある。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じ保管、管理している。基本的に危険な物は持たれていない。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強した事を取り入れ、一人一人のリスクを把握し、取り組んでいる。		より一層の注意に努めたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変、事故発生時のマニュアルを掲示している。		頭の中に入るよう1日1回でも目を通し、いざと言う時、素早い対応が出来る様にしたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に訓練行っている。 (外部評価) 消防署の協力を受けて年2回の防災訓練を実施し、夜間を想定した訓練も行い、マニュアルの見直しにも取り組んでいる。施設内は広く、地域の避難場所となることも可能である。災害時の備蓄についても検討し、食料は1階厨房で管理している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の方に起こりうるリスクは近況の報告と共に説明行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝のバイタル、朝・夕の申し送りや特変・急変時は、看護師を通じての医師への連絡等対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 副作用について理解不足。処方箋を見て確認している。		把握に努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便の有無把握し、水分の声かけ行い、下剤調節、医師、看護師との連携にて対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 自分でできる人、介助の必要な人とそれに合わせたケア行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量、摂取量共に毎日チェック行い、気をつけている。一人一人の状態に合わせ、粥食等形態も変え、対応している。 (外部評価) 管理栄養士が献立を作成しており、栄養バランスはとれている。摂取量を把握するため、記録に残している。必要な方には水分摂取量をチェックし、必要量の確保に努めている。また、好きなもの、嫌いなものやアレルギーへの配慮が必要な利用者にも対応している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 手洗い、消毒。手すりの消毒		徹底図っていきたい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) エプロンの使い分け、調理器具等の定期的な消毒、除菌行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節を感じる飾りつけ、花や植物を置いたり、利用者の描いた絵も飾ってある。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の飾りつけ、年中行事の写真等を展示している。 (外部評価) 広くゆったりとしており、飾りや生花で季節感をだしている。ユニットの周囲は広いベランダが続いており、散歩をしたり外気浴を楽しむことができる。音、換気、陽射し等の調整にも配慮している。また、収納スペースとして利用できる広い部屋があるため、共用空間はすっきりしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアが共有空間であり、雑談の場となっている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人の持ち込みあり、使い慣れた物、好きな物を置かれたり使われたりしている。 (外部評価) 広めの部屋に、ベッドとタンスが備え付けてある。各自が家族の協力を得ながら仏壇、家族の写真、人形、鏡台など使い慣れたものを持ち込み、自分好みに配置している。家族の宿泊にも対応可能である。		より本人の希望に沿った空間作りをしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気、温度調節行い、臭いの気になる箇所には消臭剤を置き、対応している。		こまめな温度調節を行う。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーになっており、安全に出来る事はして頂ける生活が営める環境となっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 出来る事は自身ですべて頂いているが、極度に忙しい時間帯には、やや過剰介護が見受けられる。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭には、花や木が植えられており、散歩コースとなっている。ベランダは3階ということもあり、出て頂く事は基本ない。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	思い願いは把握出来てきた。しかし、それを実現、対応はあまり出来ていない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	利用者の方は、ゆったりする時間あるも職員は業務があり、一緒にゆっくりとはいかない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	自身のペースにて過ごされており、嫌な事はしたくないと言われる方もいる。体調面もあり、思い思いに休まれたりする。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	皆で何かをした時、好きな事をした後等、笑顔多く「ありがとう」とお礼を言われ、嬉しそうにされている。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	施設内の散歩はあれども、戸外へは、行ける状態や余裕がない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	毎朝の健康チェックや医療との連携にと充実している。老人の特有の不安気質はあれども大きくはない。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	その都度対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	信頼関係が築けている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	民謡のボランティア、年中行事のボランティア、入所中の知人の方等、時折、顔を出される。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	施設のイベントを皮切りに徐々にではあるが、地元の方々との繋がりは増えてきている。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々、協力し合い頑張っている。ややマンネリ化して来ている様も出て来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全面的な満足というのではないと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほとんどそれなりの満足はされていると思われる。家族の方からも喜びの言葉を良く聞かせて頂いている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・医療との連携もしっかり取れており、看取りも出来、家族と協力して看取って行けた。
- ・老健のOTの協力を得てリハビリも実施出来ている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム里の家

(ユニット名) のぎく

記入者(管理者)
氏名 丹下 実子

評価完了日 平成 20 年 12 月 20 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員一人一人の思いをまとめ、また話し合い理念を決定している。 (外部評価) 個々の利用者の思いや生活を大切にしたい理念となっており、職員間で事あるごとに話し合って確認し合っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎朝の申し送り、またユニット会を通じ管理者以下、職員全員で理念を共有、また常に念頭に置き、日々実践に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 職員や利用者の目に触れる場所に掲示している。また、毎朝復唱して意識し、理念の実践に向けて努力している。	※	現状の理念に基づき、更なる向上を各々目指していく。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に1回の運営推進会議、また年1回の家族会や3ヶ月に1回のカンファレンスを通じ、各々に理解して頂くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 明るい挨拶を心がけ、親しみを持っていただくよう努めているが、日常的な付き合い、気軽に立ち寄ってもらえるような声かけは行えていない。	※	気軽に立ち寄ってもらえるよう、交流を深め、機会を設けていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭りや文化祭等地域の方の協力を得たり、地域開催の夜店に参加させていただいたり、また詩吟教室、民謡教室にて指導して頂いたり、訪問美容、理容を利用する等交流できている。 (外部評価) 広い敷地をもつ建物の3階にホームがあるという立地も関係して、日常的な近所の付き合いができていとは言えないが、散歩や行事等での交流を心がけている。地域の方からの相談やボランティアの協力があり、地域へのホーム機能の還元等に徐々に取り組んでいる。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 直接、地域の高齢者への貢献は出来ていないが、施設として地域便り（石井地区）で事業所が掲載された。	※	地域の高齢者の暮らしを理解する為に訪問し、コミュニケーションをとり、状況把握、その上で何が出来るか話し合いたいが、職員数に限りがある為困難である。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 施設の質の向上、また、自己啓発の為に外部評価は必要であると理解している。また、前回の評価により、改善できる点を話し合い、取り組んでいる。 (外部評価) 評価の意義を十分理解したうえで全職員が自己評価に取り組んでおり、日々のケアの振り返りを行うことでサービスの向上につなげている。	※	具体的な改善点を更に掘り下げて取り組み、向上を図りたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者の現状や行事報告、施設内外での問題点、外部評価報告を行い、役員の意見を伺い、改善策を話し合う等、サービス向上に活かしている。 (外部評価) 2か月に1回開催し、地域の情報を得たり、行事等を通じて地域と交流する場としても活用されている。ホームの状況報告、催し物や行事、防災や避難訓練、その他の相談等について検討や意見交換をしている。会議での意見等はサービス向上に活かせるよう対応している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議以外、現場スタッフは直接関わりを持っていない。 (外部評価) 運営推進会議への参加を通じてホームの状況を知ってもらったり、各種の手続きや申請時等に意見交換をしたり、種々の相談等をしながら連携をとっている。	※	必要であれば機会を設け、色々な意見を出して頂き、質の向上に取り組んでいきたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会により、権利擁護や成年後見制度についての知識は若干あるが、直接的な活用、支援は対象者がいない事もあり支援できていない。	※	権利擁護を学び、理解に努め、話し合った上で必要な方には支援していきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会やパンフレットにより理解している。また日常的に常時、利用者に声かけし、変化を見過ごさぬよう心がけている。また、トイレや入浴時等、体に異常がないか細心の注意を払っている。	※	引き続き、職員間で情報交換しながら防止に努めていく。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 事前に訪問調査を行い、その場で家族、利用者を交え、十分な話し合いまた、不安に対する説明をし、理解、納得を図っている。また、入居後も同様に行っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者が現場スタッフには都度言ってもらっており、内容に応じて運営に反映させているが、外部者へ表せる機会は設けていない。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には、日中の様子や健康状態を報告している。また、毎月ホーム便りにて状況報告を行っている。その際、一緒に現金台帳コピーと領収書を送付し、金銭報告も行っている。全てにおいて、特変時には、都度電話にて連絡を行っている。 (外部評価) 家族の来訪は比較的多く、その時に情報交換や報告をしている。また、月に1回は金銭出納帳と手紙を送付して報告している。職員の異動についてはケースバイケースで対応している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し、家族より不満や苦情があった場合には公表し、運営に反映させているが、外部者へ表せる機会は設けていない。 (外部評価) 家族との話し合いや要望等は職員間で共有し、運営に反映している。また、家族会も開催しており、情報提供、意見交換等をしている。ホーム内や外部への意見を表す具体的な方法として、苦情相談窓口を明示し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に関し、管理者からの説明は十分に受けているが、スタッフの意見や提案を表す機会は設けられていない。	※	スタッフサイドの意見を聞いてほしい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 事前に必要な時が判っている場合は、勤務の調整や確保が出来る様努めている。しかし、突発的な場合は、対応が難しい。	※	より充実したケアが出来る様、増員を希望する。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 管理者の配慮の下、最小限に抑えていると思う。離職者が多く、やむを得ない場合が多い。利用者の意見も若干配慮されているようだ。 (外部評価) できるだけ異動を控えているが、退職等でバランスや相性等を考慮する必要があることもあり、どうしても必要な場合は利用者に影響が出ないように、個別に配慮している。	※	利用者のダメージを少なく出来る異動を望む。また、職員間の混乱も防ぎたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 出来ている。研修を受ける機会を確保し、希望者は受講出来る体制が整っている。 (外部評価) 採用時の教育については、経験や背景を考慮しながらマンツーマンで指導している。また、ホーム内で年間計画を立てて開催している月1回の勉強会には、ほとんどの職員が参加しており、業務に役立っている。ホーム外での研修参加等について、職員の意欲はあるが、人員のゆとりが十分とは言えないため参加が難しいこともある。	※	施設外への研修も勤務として参加出来る様に勤務体制を作って欲しい。 学びの意欲を持続するためにも、勉強会の運営や研修会後の報告書の作成、周知や伝達方法の徹底などについて検討することを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会や相互の訪問等の活動を行い、サービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 地域包括支援センターの呼びかけでグループホームの交流会が開催され、他のホームとの交流ができた。参加者はよい機会と感じており、今後の取り組みと継続に期待している。		今年は二人の職員が参加出来た。今後も取り入れてネットワーク作りやサービスの向上に努めていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ボーリング大会や親睦会により、年に1～2回、ストレス軽減の工夫をしてもらっている。また、勤務中、施設内に音楽(有線)が流れている。	※	職員は日々ストレスを溜め込んでいる。そのストレスに耳を傾けて欲しい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 給与には資格手当が支給されたり、勉強会を行い、介護知識を深めている。また、管理者からの労いの言葉により日々の向上心を持つ事が出来ている。	※	1年間の皆勤手当があったら良いと思う。一人一人の努力や実績を理解し、把握して欲しい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 不安や訴えに耳を傾け、よく話し合い、改善に向けての努力は惜しまない。また、信頼を築くよう日々努めている。	※	引き続きずっと行っていく。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会時には、必ず声かけし、要望等しっかり聞く機会を作っている。また、出来るか否かは別として、受けた内容に関して、必ず結果報告を行い、信頼を築くよう努めている。	※	同上

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況に応じ、「その時」の必要性を見極め色んな観点から考慮検討し、対応するよう努めている。また、都度管理者に報告、相談し、間違いのない対応を心がけている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人、家族と事前に相談し、納得して頂いた上でサービス開始している。 (外部評価) 管理者とユニット長で本人や家族と面談し、情報収集している。必要に応じて見学してもらったり、面談を重ねることで、納得してもらい、徐々に馴染めるように配慮している。落ち着くまでの期間は家族の協力も大切と考え、情報交換を密にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常の対応、会話の中で、喜怒哀楽を共にし、信頼関係を築いている。また、日常生活の中で、利用者の経験談等を聞き、学ぶべき見習うべき事がたくさんある。 (外部評価) 職員は、昔のことや生活の知恵等を利用者から学んでいる。家族の話もよくしており、職員は「自分のおばあちゃんの様な関係」と言う。	※	
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には必ず声かけをし、利用者の日常を報告する事によって、利用者の性格や気性を知り、アドバイスを頂き、また協力頂く事によって、ご家族と共に支援できている。また、家族との信頼関係も築いている。	※	ご家族とのコミュニケーションは、とれている職員と取れていない職員に分かれている為、全職員がコミュニケーションがとれる様努める。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族関係を把握し、双方の関係をよりよく築いていけるように努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族以外での馴染みの人や場所等、把握出来ていない。また、支援に努める事も出来ていない。	※	本人、または家族からの話を聞き、関係が途切れないよう支援に努めたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 退所されてもイベント等、来て下さるご家族もおおり、声かけし、繋がり、お付き合いを大切にする様に心がけている。	※	
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 一人一人の希望にしっかり耳を傾け、出来るだけ添えられるよう努めている。また、困難な場合は、ご家族とも相談しながら本人に検討してもらう。	※	退所後も交流が持てるような機会があれば良いと思う。 (会合や手紙等)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人一人の希望にしっかり耳を傾け、出来るだけ添えられる様努めている。また、困難な場合は、家族と相談しながら本人本位に検討している。 (外部評価) 日々の生活の中で本人が発する言葉や態度に注目し、一人ひとりの思いを知ることができるよう努めている。言葉で表現することが難しい利用者については、行動や様子からも把握できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サマリーやフェースシートをチェックしたり、本人・家族より情報収集を行い、把握に努めている。また、居室には利用者の使用していた家具等を持ち込んで頂き、馴染みの暮らしが出来る様に工夫している。	※	
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の声かけ、観察にする精神状態のチェック、またバイタル測定、食事量、排便チェック等による身体状態チェックまた、職員間の密なる情報交換を行う事により、総合的に把握が出来ている。	※	刻々と変化する日常の様子に気付ける様、引き続き努めていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 基本的に3ヶ月毎のカンファレンスを行い、利用者・家族に出来るだけ参加して頂き、また担当職員、管理者、ユニット長、他職員と話し合い、意見や要望を反映させた介護計画を作成している。 <hr/> (外部評価) 本人や家族の希望等を取り入れた計画を、それぞれの担当者が中心となって情報収集し、本人や家族も参加してのカンファレンスで介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1度カンファレンスを実施しているが、利用者の状況、状態変化に応じ、その都度実施しなおしている。現状に即した計画が立てられている。 <hr/> (外部評価) 毎月の介護計画の評価と3か月ごとのカンファレンスで見直しをしている。また、状況の変化に応じてその都度計画を見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日誌、ケース記録に日々の状態を細かく残し、また、のぎく独自のノートにより、職員間での報告、連絡、相談を行って情報を共有しながら、日々の実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人や家族の要望に応じ、また必要に応じて、医師や2階看護師との連携、OTやデイサービスとの連携を保ち、柔軟な支援が出来る。 (外部評価) 利用者や家族の要望に応じた支援ができるよう、状況に応じて、家族の協力も得ながら対応している。柔軟な支援に努めているが、職員の勤務状況等によっては対応に時間を要することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 本人からの意向や要望は今まで一度も無いが、管理者の判断により、行事の際には、ボランティアや民生委員の協力を得てまた、年に1～2回消防の協力を得て、活動、支援している。教育機関においては、中学生の体験学習を受け入れている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族の希望があった場合、他必要に応じて話し合い支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に出席して頂く等、地域包括支援センターと協働している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人、及び家族の希望を尊重し、それぞれのかかりつけ医の確保が出来ており、適切な医療が受けられている。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を利用している。かかりつけ医の往診があり、同じ建物の中には医師もいるため、緊急時の対応や連携は安心できる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 各々、専門医と連携がとれており、職員が相談したり、適切な受診や治療が出来ている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 2階老健に看護師が常勤しており、特変事には、すぐさま対応してもらう事が出来ている。また、日常的にも気軽に相談ができ、健康管理や医療活用の支援出来ている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、サマリー作成し、入院先医師への情報提供 また、入院中、退院時には入院先医師からの情報提供あり、連携を持っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人、家族、医師、管理者、職員と十分に話し合い、全員で方針を共有出来ている。 (外部評価) 医療との連携はスムーズにできている。同建物内の他施設に看護師が勤務している。ホームで看取りをした方は5名となっており、看取りの希望にはできるだけ対応したいとの方針を持っている。時々に関係者、利用者や家族と話し合い、方針や具体的な取り組みを確認し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度や終末期の利用者が、毎日をよりよく暮らせる為に、見極めをしっかりと行い、医師・看護師とも情報交換しながら、共に支援に取り組んでいる。	※	今後、更に重要な課題となりうる。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人にとって、何が一番良いのかを考え、家族とケア関係者で十分に話し合い、情報交換を行い、環境が変わる事よっての不安を取り除けるよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシー保護に努め、声掛け・対応等、十分に注意している。また、個人情報の取り扱いについては、ロッカーに入れ、保管している。 (外部評価) 利用者への言葉かけや態度から、個々を尊重しプライバシーに配慮していることがうかがえる。また、記録類の保管や取り扱いにも気をつけている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の意志を尊重し、本人に納得して頂くよう工夫し、努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員サイドの都合を優先する事はないが、ある程度の生活を共存する決まりは守って頂いている。各々のペースを大切に、なるべく希望に添えられるよう努めている。 (外部評価) ホームでの基本的な生活は決めているが、職員は声をかけながら利用者の希望にそった暮らしとなるよう努力している。介護や医療の関わりが多くなると、いろいろな制約もあり、一人ひとりのペースにそった暮らしを確保することは難しいこともある。	※	職員は多忙ながらもより良い介護に向けて努力しており、個々の希望を受け入れたいという熱意があるため、生活全体を含めて具体的な検討を継続していくことを期待する。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容・美容は、本人の望み通りに、カット・カラー、パーマを行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 限られた利用者ではあるが、もやしの根切りやごぼうのさがき等、食事準備を一緒にしたり、片付けを一緒にして、その人の持った力を活かしている。また、職員と利用者コミュニケーションをとりつつ、楽しんでいる。 (外部評価) 食事は建物内の厨房から届けられ、主食はユニットごとに準備している。月に1回はおやつや希望の夕食を作っている。準備や後片付けはできる範囲で手伝ってもらっている。食事は利用者だけで食べており、支援の必要の方は職員で対応している。職員は事務室で交代で各自の弁当を食べている。	※	介護型なので、準備は簡単な事しか出来ないが、食事が楽しみなものになるよう、一緒に準備をしたり、食事をしたりしていきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 家族や主治医から了承を得ている方に関して日常的に楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握に努め、声かけ・トイレ誘導により、気持ち良い排泄が出来る支援を行っている。また、オムツ減らしも努め、出来ている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 曜日や時間帯はほぼ決まっており、一人一人の希望やタイミングに合わせる事は難しい。せめて入浴中、楽しんでリラックスして頂けるよう、ラジオをかけたり、談話、入浴剤を入れたりしている。 (外部評価) 主に、週3回、午前中に入浴の支援をしている。また、散髪した際、希望時、必要時等の入浴にも可能な限り対応している。温泉に入りたいとの希望があるため、現在具体的に検討している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 各々の生活習慣を把握し、声かけ・誘導行い、休息して頂いている。また、夜間不眠時には、水分補給や声かけをし、解消に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 食器を拭いて頂く、洗濯物・おしぼりたたみ、壊れ物の修理等、個々の力を活かした役割を見つけている。また、書道や折り紙、塗り絵、ドリル等楽しみを見つけ、気晴らしの支援に努めている。 (外部評価) 食事の手伝い、洗濯物をたたむ、掃除、趣味(生花・書道・折り紙・俳句・絵画等)の作品づくり、新聞やテレビを見る、散歩、ドライブなど、日々の生活の中でできることや好きなことなど、利用者ごとに合った楽しみごとや役割を見つけて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族より預かっている小口資金から必要時、(買い物、外出等)本人へお渡ししている。また、個人管理が出来る方は、所有されている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人一人の希望に沿っての外出支援は出来ていない。家族が付き添いされる場合は、いつでも希望により外出、外泊して頂いている。 (外部評価) 天気の良い日に広い庭を散歩したり、敷地内で日光浴を楽しんでいるが、ドライブや外食等の外出はなかなか計画を立てることが難しく、外出については主に家族の協力を得て行っている。	※	現状として困難である。 外出の計画はさまざまな条件により難しい面もあると思うが、利用者の楽しみの一つと捉えて、希望を聞きながら検討し、実現に向けて取り組むことを期待したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族同行のもと、外出される事はあるが、ごくまれである。職員サイドが機会を作ったり、支援する事は出来ていない。	※	一人一人の行きたい所等、本人の希望を聞き、必要であれば、家族も交え、外出できる機会を作っていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、電話や手紙のやり取りが出来る様に支援できている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時は職員が挨拶、声かけを行い、気軽に入退室して頂ける雰囲気作りをしている。また、居室に椅子をお持ちする等居心地良く過ごして頂く工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会により、身体拘束の知識を身につけ、理解した上でケアを行っている。やむをえず、拘束を必要とする場合には、家族より同意書をもっている。言葉による拘束（立ち上がらないで下さい。待って下さい等）はあり。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室や玄関にはカギをかける事はなく、自由に出入り出来る様になっている。エレベーター、階段はセキュリティがかかっているが、状況に応じ解除する等、取り組んでいる。 (外部評価) ホームは高齢者施設等に併設された建物の3階にあるという構造のため、エレベーターと階段は施錠している。過去に鍵の取り扱いについて検討したが、ホームだけ別で取り扱うことができなかった。建物内はゆったりとして広く、ユニット間の出入りは自由である。職員は利用者の動きを把握して対応している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシー保護に努めつつ、昼夜に関わらず、所在や様子を把握し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 各々の身体機能を把握した上で、危険と判断した場合に関しては、見守りを行い、使用して頂けるようにしている。また、保管管理を徹底し、事故防止に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 転倒防止→ヘッドギア着用、誤薬防止→職員管理・服薬介助・窒息防止→食材チェック・キザミ、行方不明→衣類等指名記入、火災防止→定期的な訓練、目の届く場所での喫煙等事故防止に取り組んでいる。また、勉強会に参加し、知識を身につけた上で、ケアに取り組み、事故防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的な訓練は行っていないが、マニュアルがあり、一読している。また、手順を決めて実行している。	※	急変や事故発生時に備え、全職員が対応出来る様勉強会や訓練を受けていきたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回、消防訓練を行い、避難路の確保や消防訓練を行い、迅速且つ安全に避難できるよう、訓練を行っており、地域の人々の協力もお願いしている。 (外部評価) 消防署の協力を受けて年2回の防災訓練を実施し、夜間を想定した訓練も行い、マニュアルの見直しにも取り組んでいる。施設内は広く、地域の避難場所となることも可能である。災害時の備蓄についても検討し、食料は1階厨房で管理している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクがあれば、ご家族に説明し、その対策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 少しの変化にいち早く気付けるよう、観察チェックをしっかり行い、特変事には、口頭、連絡ノートを使用し、職員間で情報を共有し、記録に残し、速やかに対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤情報を一読し、理解に努めているが、効能・効果については全てを覚えきれていない。服薬の数量については、全て把握している。	※	効能・効果等全てを把握する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給を勧めたり、便秘薬・センナ茶により、排便コントロールに努めている。また、それでも解消出来ない場合は、看護師に依頼し、摘便・浣腸をしてもらっている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 義歯の方は、口腔ケア・ポリドント等にて義歯洗浄介助を行っている。自分でされる方で声かけの必要な方には声かけと見守りで対応している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスについては、管理栄養士にて行っているが、個別に必要とされる場合には、都度相談し、対応してもらっている。また、摂取量、水分量については、毎度チェックし、各々の状態に応じた支援を行っている。 (外部評価) 管理栄養士が献立を作成しており、栄養バランスはとれている。摂取量を把握するため、記録に残している。必要な方には水分摂取量をチェックし、必要量の確保に努めている。また、好きなもの、嫌いなものやアレルギーへの配慮が必要な利用者にも対応している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルがあり、一読、確認している。また、勉強会にて予防策、対応法を学んでいる。	※	更なる知識を身につけていく。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理道具、食器は消毒（ハイター）にて衛生に気をつけている。食材は消費期限をチェックし、冷蔵庫の清潔を心がけている。	※	冷蔵庫が小さい為、保管に無理が見られる場合がある。（購入希望）ゴキブリ駆除の徹底。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関に飾りつけをしたり、花を飾り、入りやすく親しみやすい工夫をしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) トイレや浴室は清潔に、フロアには、写真やレクリエーションで作成した物を飾っている。眩しい光に対しては、カーテンやブラインドを設置し、遮光している。 (外部評価) 広くゆったりとしており、飾りや生花で季節感をだしている。ユニットの周囲は広いベランダが続いており、散歩をしたり外気浴を楽しむことができる。音、換気、陽射し等の調整にも配慮している。また、収納スペースとして利用できる広い部屋があるため、共用空間はすっきりしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間の一角にソファを置き、居室以外での居場所の確保が出来ている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は本人や家族の意志を尊重しながら、使い慣れた物や好みの物を取り入れ、快適に過ごして頂けるよう工夫している。 (外部評価) 広めの部屋に、ベッドとタンスが備え付けてある。各自が家族の協力を得ながら仏壇、家族の写真、人形、鏡台など使い慣れたものを持ち込み、自分好みに配置している。家族の宿泊にも対応可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 気になる匂いがした場合、また起床後の居室の空気の入替え等、その時の状況に応じて行っているが、フローア内は、特に冬場はあまり行えず、換気扇を回してのみ対応している。	※	タイミングを見計らって今後も行っていく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 転倒の可能性の高い利用者には、畳を使用し、安全な環境作りが出来ているが、手すりや洗面台の鏡の高さ等、一人一人の身体機能には合っていない。	※	鏡については、位置調整可能な為、今後変えていく。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 分かりにくい場所等は、表示して工夫している。一人一人の残存機能を把握し、自力にて暮して頂けるように工夫、努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダを一周できるスペースあり、また、敷地内にも庭や畑が広く、活動しやすい空間がある。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	本人の思いや願い等、出きるだけ考慮し、快適に過ごして頂けるよう掴んでいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	日曜日等、入浴がない日が主であるが、それでも利用者さんが満足される程の時間は設けれていないと思う。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ADLが自立している方は、本人のペースで過ごされており、何らかの介助を要する方でも本人のペースを大切にし、その都度、確認しながら暮して頂ける。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	特にコミュニケーションをとっている時は生き生きとした表情を見る事ができるが、一部出来る事出来ない事を伝える事によって不満のある人もいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	業務に追われ、各自が行きたい所へは、殆ど行けていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	医師による往診、また2階看護師が常勤しており、特変事には、すぐ対応してもらっている為、安心感を持たれている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	一人一人の声に耳を傾け、それぞれに合った暮らしを大切にする事により、安心して頂いていると思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	面会時には声かけし、要望や不安、不満等聞いている。また、話し合いにより、ケアを充実させる事により、信頼関係が築けており保っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 ① ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	ご家族以外の面会は殆どない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議で回を重ねる毎に、情報交換や議題内容が濃くなっており、繋がりが深まっていると思う。また、議会を通じ、夏祭りや文化祭等で協力下さる応援者が増えている。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	一日の業務に追われ、生き生きとは働けておらず、バタバタしている。離職者が多く、予備軍もいると思われるので不安が多い。ストレスと疲労気味。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	サービスに満足している利用者もおり、労いの言葉をかけて下さる方が殆どだが、納得されず、不満を言われる方もいる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	感謝の言葉をかけて下さるご家族が殆どである。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・相手に対して思いやりを持ち、お互いが協力し合って、また、相手の立場に立って考える事によって、お互いの信頼関係を深め、利用者によりよいケアが出来る様に日々取り組んでいる。
- ・医療との連携を密に取る事ができ、看取りも出来る体制が出来ている。
- ・老健との併設によりデイケアのゲーム等への参加やリハビリ器具の使用が出来る。